

【北部中学校】 ESD研究発表会

北部中学校では、“人とつながる 社会とつながる 未来とつながる ESD”というテーマで、昨年度から国立教育政策研究所から教育課程研究校の指定を受けて、ESDに取り組んでおり、10月18日にその研究発表が開かれました。



研究発表会では、まず体育館で全体会が行われ、ESDに取り組んでいる理由や、これまで北部中学校が地域の方々や企業の方々と一緒に取り組んできたこと、またその成果などについての説明がなされました。

また会場では、北部中学校の学級や委員会で作った環境や健康、防災などESDに沿った内容のたくさんの研究資料が展示されていました。



ESD (Education for Sustainable Development) とは、“持続可能な開発のための教育”のことです。“だれ一人取り残さない”持続可能な世界の実現のために、一人ひとりが、世界の人々や未来のこと、自然環境のことを考えて行動できるようになることが重要です。

○公開授業

	教科等	単元・題材	クラス	授業者
1	英語	グリーティングカード	1年5組	松下 るみ
2	道徳	はるとくんのひまわり	1年6組	松尾 卓郎
3	社会・NIE	九州地方	2年1組	野口 哲
4	学活・キャリア教育	これからの社会で生きるために必要な力	2年4組	池田 優平
5	音楽	音楽の力	3年2組	野村 博幸
6	理科	地球の明るい未来のために	3年4組	林 智洋
7	保健体育	文化としてのスポーツ意義	3年6組	右山大三郎

全体会終了後は、各教室での公開授業が行われ、そのあとに、各学年・各委員



会によるブース発表が行われ、各委員会の活動や、研究してきた内容の発表がなされました。

最後に体育館で文部科学省の方から、世界でのESDの動きについてや、学校教育の中でのESDとの関わりについての説明がありました。



北部中学校では、今後、熊本のESDフロント校として、生徒たちとともにさらに社会と連携・協働して、ESDを軸とした「社会に開かれた教育課程」の発信・普及を進め、また、ESDの視点から全教科・全領域で実生活や社会とのつながりある授業づくりを進められるよう、築いた人脈や物質資源などの確保を



3年4組の理科の授業では、これからの日本の発電方法について考える授業が行われました。はじめに先生から、今の日本のエネルギーの自給率や、発電方法の構成割合などについての説明があり、そのあと、それぞれの発電方法のメリット・デメリットについて話し合いました。最後に、これからの日本の発電方法をどのような構成にしたら良いか、生徒それぞれの考えを発表しました。

引き続き進めるとともに、地域に根差した教育活動を展開していくとのことです。

【長嶺小学校】 長嶺スマイルフェスティバル

12月1日(日)に長嶺小学校で行われた「長嶺スマイルフェスティバル」で、「子ども商店街」が開催されました。

「子ども商店街」とは、6年生児童がPTAと連携して実施するもので、企画、仕入れ、出店準備、販売、精算を体験する「子どもたちによる起業体験活動」です。9月から総合的な学習の時間の中で、準備をしてきました。

6年生児童の全員がグループごとに模擬会社を設立し、それぞれにどんなお店にするか、何を販売するかなどを企画します。そして、その企画案を銀行（PTAが銀行の役を担う）に説明して融資交渉をしたり、先生や保護者などに自社株の購入を交渉したりして資金を調達します。調達した資金をもとに、商品の製作や商品の仕入れを行い、その商品を地域の子どもたちや保護者、地域の方々に販売します。お店の売り上げから、株主に配当をし、残った収益の使い道は子どもたちが話し合っ、地域のために使う予定です。



当日は、ホットドッグの販売や、射的などのお店の出店がありました。今年はタピオカの店が大人気でした。

今年で3回目となる取組ですが、昨年は収益金の一部を「熊本城復元整備基金」に寄附し「城主証」をいただきました。



「ことばの教室」と「あゆみの教室」

熊本市では市立幼稚園で、特別な支援が必要な子どもに対応した「ことばの教室」「あゆみの教室」という通級指導教室を開いています。次号では、それぞれの教室について、詳しい内容をお伝えします。

「ことばの教室」とは、

発音の誤りや吃音のある子どもに、話す意欲や聞く力、正しい発音などを育て、自信をもって話すことができるように、支援をしていく通級型の教室です。

「向山幼稚園五福ことばの教室」と「碩台幼稚園ことばの教室」でおこなっています。



「あゆみの教室」とは、

自分の気持ちをうまく表現できない、生活習慣がなかなか身に着かないなどの子どもに、集団生活に必要なことばやコミュニケーションの力を育て自信をもって就学を迎えられる



よう支援をしていく通級型の教室で、「川尻幼稚園あゆみの教室」でおこなっています。

※令和2年(2020年)度通級申し込みは、令和元年(2019年)12月9日をもって終了いたしました。
令和3年(2021年)度入級希望児の募集案内は令和2年(2020年)11月頃を予定しています。



熊本博物館 冬の催し

■企画展 令和2年2月8日(土)～3月22日(日)

「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一 - 熊本で見つけたモノ -

山口県周防大島生まれの宮本常一(1907～1981)は、大阪の天王寺師範学校に学び、修齊尋常小学校の教諭になりました。その頃から民俗学に興味をもち、柳田國男の影響を受けます。退職後、アチックミュージアムを主宰する渋沢敬三の援助のもと、全国を調査し、各地で地域振興策を提言しました。後年、宮本は武蔵野美術大学教授、日本観光文化研究所の所長などを歴任しました。代表作に『忘れられた日本人』などがあります。

本企画展では、今後の地域社会における教育について考える機会として、宮本の旅と、彼が興味を引かれた合志義塾を紹介します。

<講演会> 各回 午後1時半～午後3時 定員50名(当日9時から整理券配布)

「宮本常一、旅の足跡」 令和2年2月8日(土)

講師：高木泰伸(宮本常一記念館学芸員)

「我が師 宮本常一」 令和2年3月14日(土)

講師：段上達雄(別府大学教授)

令和2年2月1日(土)～2月29日(土) 「くまはく誕生月間」

楽しいイベント・教室が盛りだくさん! (詳しくは <https://kumamoto-city-museum.jp/>)

※印 事前申し込みが必要です

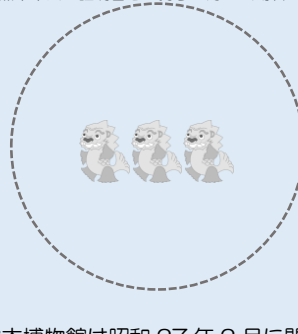
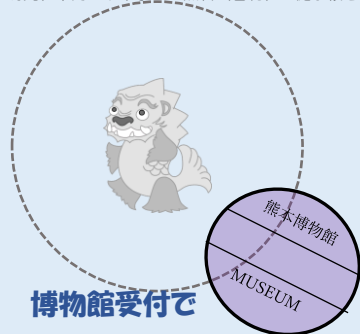
2月1日(土)	静電気グッズを作って遊ぼう	
2月2日(日)	(仮) コズミックカレッジ「惑星モビールを作ろう」	※
2月8日(土)	活性炭電池を作ろう!(会場:塚原歴史民俗資料館)	※
2月9日(日)	野鳥観察会 熊本城歴史ウォーク	
2月11日(火・祝)	紫キャベツ紙でカラフルお絵かき	
2月15日(土)	紙バック(Back!)を作ろう	
2月16日(日)	飛ぶタネの模型を作ろう	
2月19日(水)	西南戦争遺跡巡り 熊本城周辺を歩く	※
2月22日(土)	くまはくのイチ推し資料! - 絵画資料編 -	※
2月23日(日・祝)	頭微鏡で見てみよう!	
2月24日(月・振)		
2月29日(土)	銅鏡のレプリカを作ってみよう	



期間中、3回ご来館いただくとサメの歯化石をプレゼント! (数に限りがあります。)

【年間パスポートがお得です! (一般1,000円/高大生750円/小中学生500円)】

幼児、市内の小中学生は無料(名札、生徒手帳をお持ちください)障がい者手帳または65歳以上の熊本市民で証明書をお持ちの方の入場料は無料です



熊本博物館は昭和27年2月に開館しました

